

# 水産生物分布調査

## 3. イカナゴ稚仔分布調査

伊 藤 欣 吾

### は じ め に

イカナゴ漁（当歳魚）の漁期前に稚仔の分布量を把握し漁況予測の資料とする。

### 材 料 と 方 法

1997年3月13～14日（1回目）、4月14～16日（2回目）に津軽海峡西部からむつ湾にかけての11地点において、試験船青鵬丸で新型稚魚ネット（口径1,300mm、網長5,350mm、網地N Y T A L 42 G G）の表層0m、中層20mの水平10分曳（速度は2ノット）を行った。調査地点の選定は過去の調査結果と比較できるように設定された11基準海域<sup>1)</sup>から、各々任意に1地点ずつ選んだ。また、海洋環境を把握するためSTD（アレック電子社製、AST-1000）による鉛直水温、塩分の観測、ADC P（FURUNO社製、CI-30）による流向流速及び海象を観測した。

採集方法を検討するため、むつ湾湾口域の3地点において、新型稚魚ネットの水平曳、海底から海面までの鉛直曳、及びボンゴネット（A：口径700mm、網長3,000mm、網地N Y T A L 38 G G、B：口径700mm、網長3,500mm、網地N Y T A L 42 G G）による鉛直曳を行った。

### 結 果

3月13～14日（1回目）の各調査点における魚卵稚仔の採集状況、海象及び鉛直水温・塩分の結果を付表1に示した。イカナゴ稚仔は表層0mで9個体、中層20mで1,539個体採集された。イカナゴ稚仔はむつ湾湾口域に多く（図1）、その体長は4～5mmで卵黄をかなり吸収している個体が多かった（図1）。調査海域の海流はSt.11を中心に時計回りの津軽暖流の反流が形成されていた（図2）。

4月14～16日（1回目）の各調査点における魚卵稚仔の採集状況、海象及び鉛直水温・塩分の結果を付表2に示した。イカナゴ稚仔は表層0mで0個体、中層20mで203個体採集された。イカナゴ稚仔はむつ湾湾口域に多く（図3）、その体長は湾口では4～5mmが多く、湾奥ではそれより大きくなっていた（表2）。調査海域の海流は3月の調査と同様に、St.11を中心に時計回りの津軽暖流の反流が形成されていた（図4）。

イカナゴ稚仔の水平曳による分布調査は1984年から行われており、イカナゴ稚仔は表層曳よりも中層曳（水深20m）で多く採集され、むつ湾湾口域で多く採集されている<sup>1)</sup>。そこで、1984年以降におけるむつ湾湾口域（St.③④⑧⑨）での中層曳による1m<sup>3</sup>あたりのイカナゴ稚仔の採集個体数と三厩村～むつ湾～大畑町のイカナゴ漁獲量（県統計資料）との経年変化を図5に示す。ただし、濾水量は各調査地点とも速度2ノット、曳網時間10分に心がけており、目詰まりによる濾水漏れがないものと仮定し全地点とも819m<sup>3</sup>とした。1993年以降に関しては、稚仔採集個体数が多いと漁獲量も多い傾向がうかがえた。1997年の3月の稚仔採集個体数は過去最高、4月は前年に次いで2番目に多く、漁獲量

は4千トンを越え近年では最高となった。

曳網方法の違いによるイカナゴ稚仔の採集量を比較するため、St.②③④の3地点において、新型稚魚ネットの水平曳と海底からの鉛直曳、及びボンゴネットの海底からの鉛直曳を連続して行った。鉛直曳の濾水量は海底からの距離に網口面積を乗じて算出し、目詰まりによる濾水漏れがないと仮定した。新型稚魚ネットの水平曳と鉛直曳による採集個体数を1m<sup>3</sup>あたりに換算して比較すると、鉛直曳の方がやや多かったが、調査地点間の相対値はほぼ同程度となり、水平曳と鉛直曳による採集量の違いはないものと思われた（表3）。しかし、3月のSt.④だけは鉛直曳の方が極端に少なく採集され、その要因はよくわからなかった。新型稚魚ネットとボンゴネットの鉛直曳による採集個体数を1m<sup>3</sup>あたりに換算して比較すると、大きな差はないと思われた（表3）。新型稚魚ネットは網口に3本の曳網用ワイヤーが有るため稚仔が逃避し、網口に曳網用ワイヤーのないボンゴネットの方が稚仔の逃避は少ないと考えられているが、今回の調査では両者に違いはみられなかった。

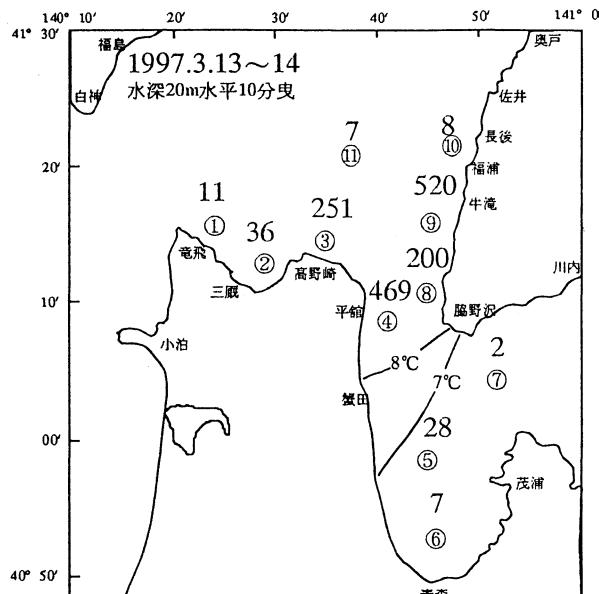


図1 第1回イカナゴ稚仔分布調査結果  
(中層20m)

①～⑪：St.番号、数字：採集個体数  
水温は水深20mの地点

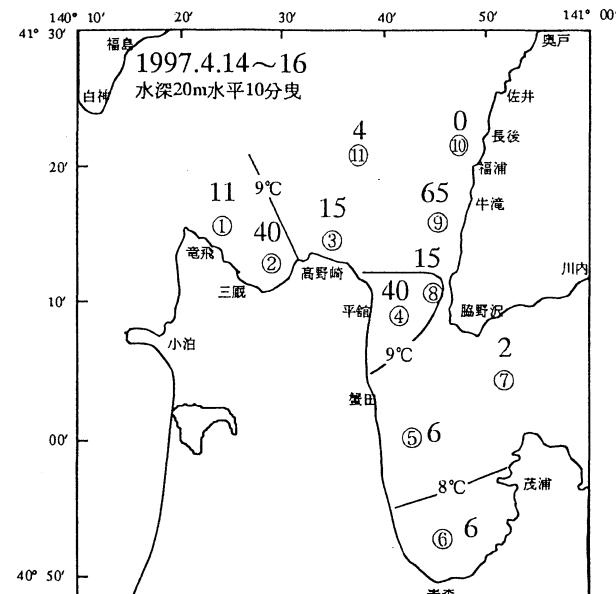


図3 第2回イカナゴ稚仔分布調査結果  
(中層20m)

①～⑪：St.番号、数字：採集個体数  
水温は水深20mの地点

表1 第1回調査地点別イカナゴ体長組成

St.	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪
3～4mm	6	7	11	—	—	—	—	3	137	—	2
4～5mm	3	11	149	168	11	1	—	139	288	4	1
5～6mm	1	11	80	173	13	—	1	27	78	3	—
6～7mm	1	6	4	91	2	1	1	19	7	1	—
7～8mm	—	1	5	30	—	—	—	11	3	—	1
8～9mm	—	—	2	5	2	2	—	1	6	—	—
9～10mm	—	—	—	2	—	2	—	—	1	—	2
10～11mm	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	1
11～12mm	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
12～13mm	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
合計	11	36	251	469	28	7	2	200	520	8	7

表2 第2回調査地点別イカナゴ体長組成

St.	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪
3～4mm	—	11	2	11	—	—	—	—	—	51	—
4～5mm	7	16	13	16	3	—	—	4	13	—	2
5～6mm	3	11	—	5	2	—	—	9	1	—	1
6～7mm	1	1	—	3	1	2	1	1	—	—	1
7～8mm	—	1	—	2	—	—	—	1	—	—	—
8～9mm	—	—	—	1	—	1	—	—	—	—	—
9～10mm	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—
10～11mm	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—
11～12mm	—	—	—	—	—	2	—	—	—	—	—
12～13mm	—	—	—	1	—	—	1	—	—	—	—
合計	11	40	15	40	6	6	2	15	65	0	4

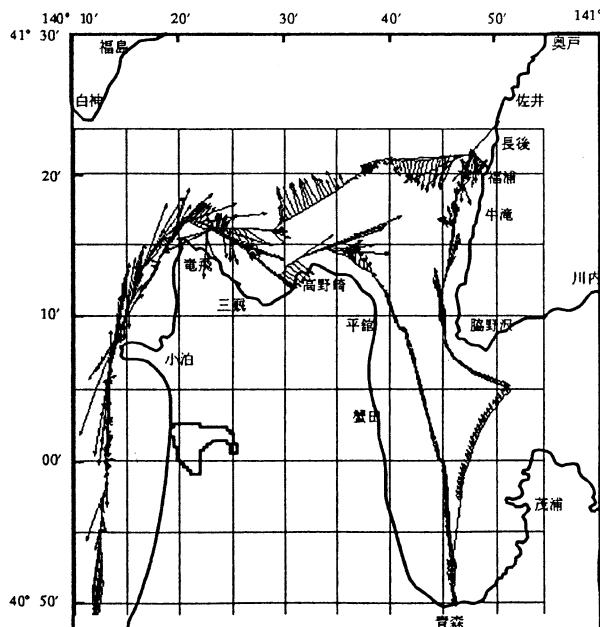


図2 1997年3月13～14日の水深10mの流向流速

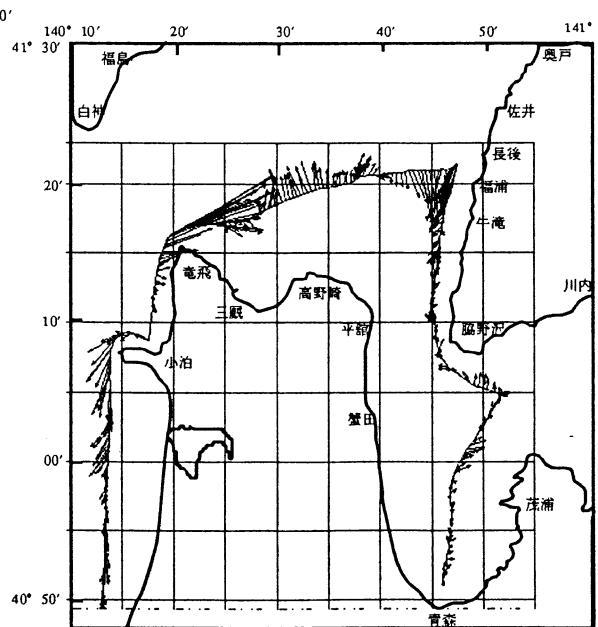


図3 1997年4月16日の水深10mの流向流速

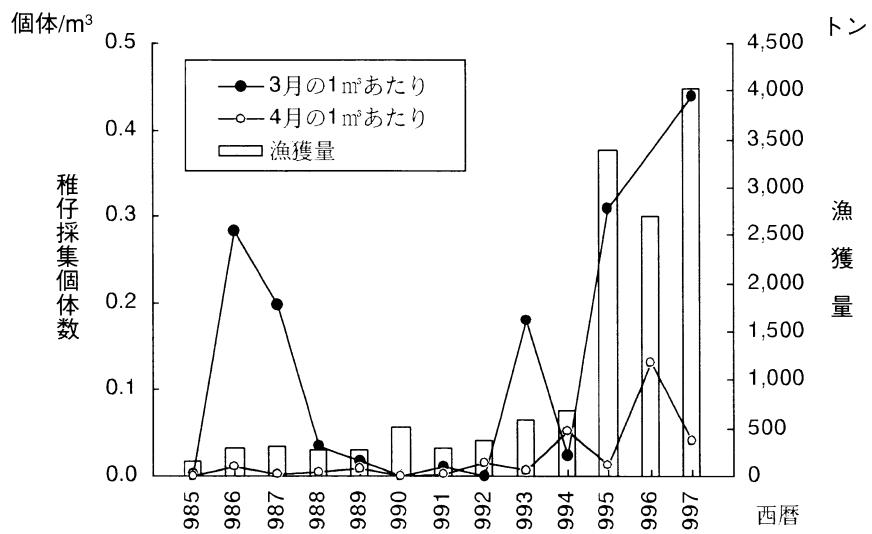


図5 むつ湾湾口域のイカナゴ稚仔分布密度と漁獲量（竜飛～陸奥湾～佐井）の推移

表3 めんこ方法別イカナゴ採集個体数

1997年3月13日

	新型稚魚ネット			ポンゴネットA (NYTAL38GG)			ポンゴネットB (NYTAL52GG)		
	水深20mの水平10分曳			海底からの鉛直曳			海底からの鉛直曳		
	採集個体数	濾水量	採集密度	採集個体数	濾水量	採集密度	採集個体数	濾水量	採集密度
St.2	36	819	0.044	8	74	0.108	1	22	0.046
St.3	251	819	0.306	38	105	0.363	7	30	0.230
St.4	469	819	0.573	12	66	0.181	12	19	0.624

※濾水量の単位はm<sup>3</sup>、採集密度の単位は個体/m<sup>3</sup>

1997年4月14日

	新型稚魚ネット			海底からの鉛直曳		
	水深20mの水平10分曳			海底からの鉛直曳		
	採集個体数	濾水量	採集密度	採集個体数	濾水量	採集密度
St.2	40	819	0.049	8	86	0.093
St.3	15	819	0.018	0	101	0.000
St.4	40	819	0.049	7	70	0.100

※濾水量の単位はm<sup>3</sup>、採集密度の単位は個体/m<sup>3</sup>

## 考 察

1回目（3月）の調査で採集されたイカナゴ稚仔の全長組成をみると、卵黄吸収後の個体から全長10mm程度の個体まで幅広く採集されていることから、1997年のイカナゴは2月中にふ化した個体も多かったと推測される。1997年の調査海域周辺の水温をみると（図6）、1月下旬～2月中旬に平年値より1℃以上高めが続いている。水温が高い年はふ化時期も早まる可能性がある。

イカナゴの稚仔採集個体数と漁獲量との関係は、1993年以降では稚仔採集個体数が多いと漁獲量も多い傾向がうかがえた。しかし、1985～1987年に稚仔採集個体数が多いにも関わらず漁獲量が少なかった。その要因は、イカナゴの資源が長年低迷していたので操業しない漁業者が多かった可能性と、発育段階初期の1～5月の水温が低かったため生き残りに障害があった可能性が考えられるが、解明はできなかった<sup>1)</sup>。

イカナゴ稚仔の発生量と加入資源には正の相関があると考えられ、漁期前に稚仔の発生量を調べることで漁況予測は可能と思われた。稚仔の採集方法は、従来の新型稚魚ネットの水平曳で十分可能であると考えられ、調査期間を発生時期に合わせ2～4月に毎月1回実施する必要がある。

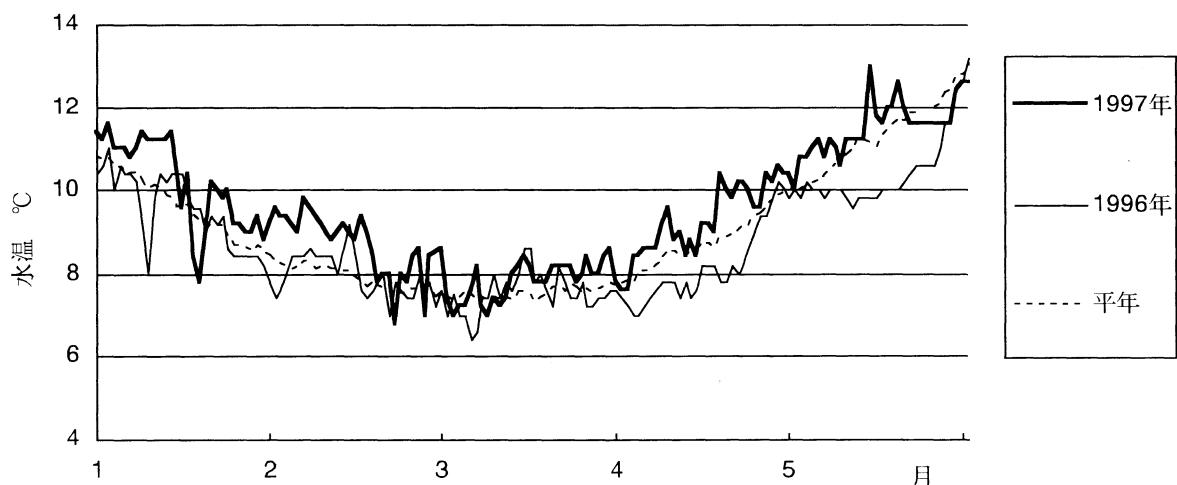


図6 佐井村地先海面の日別水温の推移（平年値は1980～1996年の平均値）

## 文 献

- 1) 青森県水産試験場（1998）：水産生物分布調査3. イカナゴ稚仔分布調査. 平成8年度青森県水産試験場事業報告：11-16.

付表1 新型稚魚ネット水平曳によるイカナゴ稚仔分布調査結果（1回目）

	St.1	St.2	St.3	St.4	St.5	St.6	
年月日	1997/03/13	1997/03/13	1997/03/13	1997/03/13	1997/03/13	1997/03/13	
時間	09:30	10:24	11:45	12:40	14:00	15:00	
水深	72m	56m	80m	53m	58m	38m	
位置 北緯	41° 15.9"	41° 13.0"	41° 13.9"	41° 09.9"	40° 99.9"	40° 53.1"	
東経	140° 23.5"	140° 28.8"	140° 36.7"	140° 41.1"	140° 44.7"	140° 45.9"	
天候	B C	B C	B C	B C	B C	B C	
風向	S W	S W	S W	S W	S W	S W	
風力	2	2	2	2	2	2	
波浪	2	2	2	1	1	1	
うねり	2	2	1	1	1	1	
気圧	—	—	—	—	—	—	
気温	—	—	—	—	—	—	
	水温°C 塩分psu	水温°C 塩分psu	水温°C 塩分psu	水温°C 塩分psu	水温°C 塩分psu	水温°C 塩分psu	
海況	0m 8.77 10m 8.71 20m 8.67 30m 8.65 40m 8.59 50m 8.58 60m 8.56 70m 8.56 80m 8.56 90m 8.56 100m 8.56 150m 8.56 170m 8.56	0m 33.99 10m 33.99 20m 33.99 30m 33.99 40m 34.01 50m 34.03 60m 34.02 70m 34.03 80m 34.03 90m 34.03 100m 34.03 150m 34.03 170m 34.03	0m 34.00 10m 34.01 20m 34.02 30m 34.01 40m 34.02 50m 34.02 60m 34.03 70m 34.03 80m 34.03 90m 34.03 100m 34.03 150m 34.03 170m 34.03	0m 34.02 10m 34.03 20m 34.00 30m 34.00 40m 34.01 50m 34.02 60m 34.03 70m 34.04 80m 34.04 90m 34.04 100m 34.04 150m 34.04 170m 34.04	0m 34.02 10m 34.03 20m 34.03 30m 34.03 40m 34.01 50m 34.01 60m 34.01 70m 33.77 80m 33.77 90m 33.77 100m 33.77 150m 33.77 170m 33.77	0m 34.01 10m 33.99 20m 33.95 30m 33.90 40m 33.87 50m 33.87 60m 33.87 70m 33.87 80m 33.87 90m 33.87 100m 33.87 150m 33.87 170m 33.87	0m 6.94 10m 6.76 20m 6.62 30m 6.60 40m 33.92 50m 33.94 60m 33.90 70m 33.87 80m 33.87 90m 33.87 100m 33.87 150m 33.87 170m 33.87
イカナゴ	0m 6 4~5mm 3 5~6mm 1 6~7mm 1 7~8mm 1 8~9mm 1 9~10mm 1 10~11mm 1 合計 11	0m 7 4~5mm 11 5~6mm 11 6~7mm 6 7~8mm 1 8~9mm 1 9~10mm 1 10~11mm 1 合計 36	0m 11 4~5mm 149 5~6mm 80 6~7mm 4 7~8mm 5 8~9mm 2 9~10mm 1 10~11mm 1 合計 251	0m 168 4~5mm 173 5~6mm 91 6~7mm 30 7~8mm 5 8~9mm 2 9~10mm 2 10~11mm 1 合計 469	0m 11 4~5mm 11 5~6mm 13 6~7mm 2 7~8mm 1 8~9mm 2 9~10mm 1 10~11mm 1 合計 28	0m 11 4~5mm 1 5~6mm 1 6~7mm 1 7~8mm 1 8~9mm 1 9~10mm 1 10~11mm 1 合計 7	
タラ科	— 3(3.7~5.8)	— 8(3.5~7.0)	— 5(3.2~7.5)	— 11(3.9~7.3)	— 7(4.6~12.5)	— 18(4.5~7.5)	
ウスメバル	— 3(6.7)	— 15(4.1~8.0)	— 11(3.7~5.2)	— 4(4.5~6.6)	—	— 1(4.4)	
ムラソイ	—	—	—	—	—	—	
アイナメ科SP.	—	— 2(6.9, 7.0)	— 2(10.5, 10.5)	—	—	—	
カジカ科SP.	—	—	—	—	—	—	
ギンボ亜目SP.	— 1(7.0)	—	—	—	—	—	
ヒレグロ	—	—	—	—	—	—	
カレイ科SP.	—	—	—	— 1(5.0)	— 2(6.3, 6.5)	—	
不明仔稚	—	—	—	— 1(7.5)	—	—	
ホタルイカ卵	—	—	—	— 1	—	—	
不明卵	32	83	144	97	101	57	
	0m 20m	0m 20m	0m 20m	0m 20m	0m 20m	0m 20m	

	St.7	St.8	St.9	St.10	St.11	
年月日	1997/03/14	1997/03/14	1997/03/14	1997/03/14	1997/03/14	
時間	07:30	08:30	09:30	10:30	12:40	
水深	57m	63m	77m	78m	191m	
位置 北緯	41° 04.9"	41° 10.5"	41° 16.2"	41° 21.5"	41° 20.4"	
東経	140° 51.3"	140° 44.9"	140° 45.9"	140° 47.7"	140° 37.3"	
天候	B C	C	C	C	C	
風向	N E	S	S	S	S	
風力	3	2	2	2	2	
波浪	2	2	2	2	2	
うねり	1	1	1	1	1	
気圧	—	—	—	—	—	
気温	—	—	—	—	—	
	水温°C 塩分psu	水温°C 塩分psu	水温°C 塩分psu	水温°C 塩分psu	水温°C 塩分psu	
海況	0m 4.74 10m 6.27 20m 6.25 30m 5.65 40m 4.83 50m 4.63 60m 4.63 70m 4.63 80m 4.63 90m 4.63 100m 4.63 150m 4.63 170m 4.63	0m 33.69 10m 33.95 20m 33.94 30m 33.82 40m 33.79 50m 33.79 60m 33.79 70m 33.79 80m 33.79 90m 33.79 100m 33.79 150m 33.79 170m 33.79	0m 8.37 10m 8.36 20m 8.36 30m 7.45 40m 6.49 50m 5.47 60m 5.40 70m 5.40 80m 5.40 90m 5.40 100m 5.40 150m 5.40 170m 5.40	0m 34.02 10m 34.02 20m 34.04 30m 34.03 40m 34.03 50m 34.03 60m 34.03 70m 34.03 80m 34.03 90m 34.03 100m 34.03 150m 34.03 170m 34.03	0m 7.25 10m 8.73 20m 8.73 30m 8.73 40m 8.73 50m 8.72 60m 8.71 70m 8.71 80m 8.71 90m 8.71 100m 8.71 150m 8.71 170m 8.71	0m 8.80 10m 8.69 20m 8.69 30m 8.69 40m 8.67 50m 8.67 60m 8.67 70m 8.71 80m 8.71 90m 8.71 100m 8.71 150m 8.71 170m 8.71
イカナゴ	0m 20m	0m 20m	0m 20m	0m 20m	0m 20m	
3~4mm	—	—	3	137	—	
4~5mm	—	—	139	288	4	
5~6mm	—	—	27	1	3	
6~7mm	—	—	19	7	1	
7~8mm	—	—	11	3	—	
8~9mm	—	—	1	6	—	
9~10mm	—	—	—	1	—	
10~11mm	—	—	—	—	1	
合計	0 2	0 200	2 520	0 8	0 7	
タラ科	— 2(6.1, 6.3)	— 2(4.4, 5.0)	— 10(3.3~7.8)	— 2(4.0, 4.2)	— 3(3.7~8.2)	
ウスメバル	— 1(8.0)	1(6.5) 3(4.0~5.7)	— 2(4.2, 5.1)	— 1(4.4)	— 7(4.2~6.0)	
ムラソイ	—	—	—	1(11.0)	—	
アイナメ科SP.	1(12.0)	—	—	1(8.0)	—	
カジカ科SP.	—	—	—	—	—	
ギンボ亜目SP.	—	—	—	—	—	
ヒレグロ	—	—	—	—	—	
カレイ科SP.	—	—	—	—	—	
不明仔稚	—	—	—	—	—	
ホタルイカ卵	—	—	—	—	—	
不明卵	1	1	15	7	20	23
	0m 20m	0m 20m	0m 20m	0m 20m	0m 20m	

※採集魚柵の数字は尾数、( ) 内は体長。

付表2 新型稚魚ネット水平曳によるイカナゴ稚仔分布調査結果（2回目）

	St.1	St.2	St.3	St.4	St.5	St.6					
年月日	1997/04/14	1997/04/14	1997/04/14	1997/04/14	1997/04/14	1997/04/14					
時間	09:20	09:58	11:15	12:17	13:25	14:30					
水深	72m	65m	76m	53m	58m	37m					
位置	北緯 東経	41° 15.9" 140° 23.5"	41° 13.0" 140° 28.8"	41° 13.9" 140° 36.7"	41° 09.9" 140° 41.1"	40° 00.0" 140° 43.0"					
天候	-	-	-	-	-	-					
風向	-	-	-	-	-	-					
風力	-	-	-	-	-	-					
波浪	-	-	-	-	-	-					
うねり	-	-	-	-	-	-					
気圧	-	-	-	-	-	-					
気温	-	-	-	-	-	-					
	水温 °C	塩分 psu	水温 °C	塩分 psu	水温 °C	塩分 psu	水温 °C	塩分 psu	水温 °C	塩分 psu	
海況	0 m	9.34	33.62	9.15	33.79	-	9.49	33.77	9.45	34.03	
	10 m	9.10	33.75	9.09	33.82	8.96	33.94	9.09	33.90	8.71	33.99
	20 m	9.05	33.86	9.06	33.85	8.93	33.95	9.03	33.93	8.62	33.99
	30 m	9.04	33.89	8.92	33.91	8.92	33.97	8.96	33.96	8.57	33.97
	40 m	9.03	33.88	8.73	34.00	8.91	33.97	8.90	99.97	8.44	33.94
	50 m	9.02	33.90	8.50	34.04	8.88	33.99	7.80	33.94	7.23	33.77
	60 m	8.98	33.92	-	-	8.77	34.02	-	-	-	-
	70 m	8.70	34.00	-	-	8.66	34.06	-	-	-	-
	80 m	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	90 m	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	100 m	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	150 m	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	160 m	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
イカナゴ	0 m	20 m	0 m	20 m	0 m	20 m	0 m	20 m	0 m	20 m	
	3 ~ 4 mm	-	-	-	11	-	2	-	11	-	-
	4 ~ 5 mm	-	7	-	16	-	13	-	16	-	3
	5 ~ 6 mm	-	3	-	11	-	-	-	5	-	2
	6 ~ 7 mm	-	1	-	1	-	-	-	3	-	1
	7 ~ 8 mm	-	-	-	1	-	-	-	2	-	-
	8 ~ 9 mm	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1
	9 ~ 10 mm	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
	10 ~ 11 mm	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	11 ~ 12 mm	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	12 ~ 13 mm	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
合計	0	11	0	40	0	15	0	40	0	6	0
タラ科	-	-	-	-	-	1(8.0)	-	-	-	2(4.5, 21.0)	-
ウスメバル	-	6(4.5 ~ 6.5)	-	53(4.0 ~ 5.5)	-	16(4.0 ~ 7.2)	-	8(4.3 ~ 7.4)	-	5(4.5 ~ 6.0)	-
カジカ科 SP.	-	-	-	2(4.2, 4.1)	-	-	-	1(3.6)	-	-	-
ギンボ亜目 SP.	1(14.0)	-	-	-	-	1(6.8)	-	-	-	-	-
マガレイ	-	1(5.6)	-	4(4.0 ~ 7.8)	-	-	-	3(3.1 ~ 3.8)	-	-	-
マコガレイ	-	1(3.6)	-	-	-	-	-	1(3.1)	-	1(4.2)	-
ババカレイ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1(5.6)	-
イシガレイ	-	-	-	3(3.6 ~ 4.2)	-	-	-	-	-	-	-
不明朋	1	2	3	3	4	2	1	-	115	2	-

	St.7	St.8	St.9	St.10	St.11						
年月日	1997/04/16	1997/04/16	1997/04/16	1997/04/16	1997/04/16						
時間	08:25	09:35	10:35	11:35	12:50						
水深	53m	59m	73m	76m	199m						
位置	北緯41° 04.9"	北緯41° 10.5"	北緯41° 16.2"	北緯41° 21.5"	北緯41° 20.4"						
東経	東経140° 51.3"	東経140° 44.9"	東経140° 45.9"	東経140° 47.7"	東経140° 37.3"						
天候	-	-	-	-	-						
風向	-	-	-	-	-						
風力	-	-	-	-	-						
波浪	-	-	-	-	-						
うねり	-	-	-	-	-						
気圧	-	-	-	-	-						
気温	-	-	-	-	-						
	水温 °C	塩分 psu	水温 °C	塩分 psu	水温 °C	塩分 psu	水温 °C	塩分 psu			
海況	0m	8.12	33.91	9.09	33.94	8.90	33.97	9.38	33.97	9.11	33.98
	10m	8.09	33.92	9.03	33.92	8.88	33.97	8.82	33.99	8.84	34.04
	20m	2.06	33.90	9.00	33.93	8.79	33.97	8.73	34.03	8.84	34.05
	30m	7.62	33.87	8.10	33.87	8.71	33.93	8.66	34.06	8.89	34.06
	40m	7.36	33.86	6.85	33.75	8.60	33.92	8.60	34.10	8.93	34.08
	50m	6.55	33.80	6.58	33.80	8.26	33.80	8.40	34.15	8.94	34.09
	60m	-	-	-	-	7.39	33.81	8.35	34.14	8.96	34.10
	70m	-	-	-	-	6.67	33.82	8.20	34.12	8.93	34.11
	80m	-	-	-	-	-	-	-	-	8.90	34.11
	90m	-	-	-	-	-	-	-	-	8.84	34.13
	100m	-	-	-	-	-	-	-	-	8.81	34.12
	150m	-	-	-	-	-	-	-	-	6.91	34.14
	170m	-	-	-	-	-	-	-	-	6.79	34.17
イカナゴ	0m	20m	0m	20m	0m	20m	0m	20m	0m	20m	
	3~4mm	-	-	-	-	-	51	-	-	-	-
	4~5mm	-	-	-	4	-	13	-	-	-	2
	5~6mm	-	-	-	9	-	1	-	-	-	1
	6~7mm	-	1	-	1	-	-	-	-	-	1
	7~8mm	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
	8~9mm	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	9~10mm	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	10~11mm	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	11~12mm	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	12~13mm	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
	合計	0	2	0	15	0	65	0	0	0	4
タラ科	-	-	-	1(4.0)	-	-	-	-	-	-	-
ウスメバル	-	1(6.9)	-	21(4.5~7.6)	-	3(4.1~6.0)	-	1(4.0)	-	4(4.5~5.6)	-
カジカ科SP.	-	1(5.7)	-	1(5.5)	-	2(3.9, 4.5)	-	-	-	1(4.6)	-
ギンボウ目SP.	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マガレイ	-	-	-	2(3.0, 4.0)	-	-	-	-	-	-	-
マコガレイ	-	-	-	1(5.8)	-	-	-	-	-	-	-
ババカレイ	-	1(5.3)	-	2(5.5, 5.8)	-	-	-	-	-	-	-
イシガレイ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
不明卵	19	-	-	-	2	-	28	2	2	2	5

※採集魚欄の数字は尾数、( ) 内は体長。